

## 4. 将来交通需要からみた交通量予測

将来交通需要に対する幹線道路網の充足度を予測する目的で、幹線道路網に対する将来交通量を推計します。

将来交通量の推計は平成 17 年（2005 年）道路交通センサスにおいて予測されている平成 42 年（2030 年）の自動車発生集中交通量予測結果に基づいて行います。

なお、道路交通センサスでは菰野町内は 3 ゾーン（市街化区域、湯の山温泉、市街化調整区域・都市計画区域外）の区分となっておりますが、町内の自動車の動きをより詳細に求めるため、市街化区域、湯の山温泉をそれぞれ 2 ゾーンに分割し、市街化調整区域・都市計画区域外を 4 ゾーンに分割した、合計 8 ゾーンで予測を行いました。

■幹線道路網案に対する将来交通量推計結果と評価

【広域幹線道路】

- 国道 477 号線バイパスは、1～3 万台程度の交通量となり、町内から四日市市方面へのアクセス、および（仮称）菟野 IC へのアクセスに用いられます。
- （都）湯の山潤田線では、（仮称）菟野 IC へのアクセス交通を受け持ち、8 千台程度の交通量があります。
- 国道 306 号の交通量は（県）千草永井線交差～（県）田光四日市線交差までで微増するものの、それ以外の区間では減少します。
- （県）四日市菟野大安線の交通量も全体的に減少するが、竹永地域から国道 477 号線バイパスへ向かう交通量が多いことから、国道 477 号バイパス～（町）千草川北線間で現況と同程度の交通量があります。

【地域幹線道路】

- 現道の国道 477 号は通過機能がバイパスへ移ることから、特に町内の中心部では交通量が大きく減少します。
- （町）千草川北線では、（県）四日市菟野大安線以東で交通量が大きく減少します。

【生活幹線道路】

- 1 日 1 万台以上の交通量が発生する道路は見られません。

